

乙女中毒



ごあいさつ

ロリータ魂百まで

詩『BABYではじまりLOLITAでおわる』、『エンドレス少女』

キティちゃんは宗教

詩『ハンドルネーム』

テレビがお友達

詩『アナログテレビ』

好きなものは譲れない！

詩『Pure White & Baby Blue』

お姫様精神

詩『ゆめ』

ハートが上手く描けなくて

詩『エタノール』

わたしは魔女見習い

詩『いつか魔法はつかえる』

ぬいぐるみは夜ふかしさん

詩『舞台　ぬいのお茶会』

秘密のクローゼット

詩『クローゼット』

乙女戦争

詩『やっぱり♡♡がお好き』

新・女の子論

詩『乙女の宿命』、『乙女のじかん』

夢幻遊具

詩『一時帰宅』

BABYのお洋服は特別で

詩『わたしはわたしになる』

元気の出るおまじない

詩『だいすぎ』

あとがき

お姫様精神

わたしは生まれた時からなにをするにもすぐ行動が遅くて、のんびりしていました。性格は別におっとりしていないのですが、何をするにもとろいのです。気が向かないことだと特に。一人つ子の期間が長かったからかもしれません。競う相手などいないのでおやつなども、早く食べないととられるからと焦ったりもしなくていいですし、そもそもごはんを食べること自体とても遅かったです。

幼稚園児の頃は、あまり通いたくないのもあり、毎朝なんだかんだと言いながらぐずぐずとろしていました。行きたくないくと駄々をこねてズル休みする日がほとんどでした。朝ご飯ものっそりのっそりと食べて、というかほぼ食べず、でもそれだとよくないので、何か栄養を摂らなければと母がミックスジュースなどを作ってくれていましたが、あまり進まずグダグダしながらいつも時間が無意味に過ぎていました。朝食を終え、おじいちゃんが車で送り迎えをしてくれたので、おじいちゃんの家から通園する時は、幼稚園の指定の制服のブラウスと深緑のチェックのジャンパースカートと靴下を全部並べてもらって、そこからやつとお着替えタイムが始まるのですが、ブラウスのボタンでさえも、おじいちゃんが外してくれて、着替えさせてくれました。余ったうでの袖も頼まなくても捲ってくれていた。もちろん脱いだバジヤマも畳んでくれます。お洋服の畳み方もそこで教わりました。そんな感じでした。ゆったりゆったり、まっ

ハートが上手く描けなくて

わたしはハートのかたちが好きです。

ハートのモチーフもハートの柄もハートマークもぜんぶ好き。だってかわいいから、愛してるのしるしだから。好きなメゾンのブラウスのお袖に、ハートのレースがついていたりしたら即買ってしまうし、お手紙や文章を書く時もしっかり最後にハートマークをつけてしまう。ハートをみると、なんだかうれしい気持ちになるし、愛おしい気持ちや好きって気持ちが湧いてくる。

幼稚園くらいころ、いつものようにぐずって園を休んでお昼に母とお絵描きをしていたら、母が綺麗なハートマークをたくさん描いてくれました。わたしも真似して描こうとしたけれど、母みたいに上手に書けなくてそれが悔しくて悔しくて仕方なくなつて癩癩を起こしてわーわー泣き始めました。わたしはハートが大好きだから歪なハートしか生み出すことのできない無力な自分が許せなくて情けなくて感情が抑えられなかったのです。

ハートに対しての執着が半端なかつたです。

そして泣き止まないわたしの気分を変えるため、当時、養護教諭だったおばあちゃんの学校まで連れられました。こういうことはよくあつて、泣いて、気がついたらいつもおばあちゃんの保健室にいました。バスで行っていた

いつか魔法はつかえる

可愛がってたぬいぐるみも全部捨てて

今ここでわたしが死ねば

このまま永遠にずっとわたしはそのまま保存されて

ロリータ服を着て死ねば

ロリータのかわいいわたしのままこの世に残る

あとはわたしの夢の中

遊んだり飛び跳ねたり喜んだり

ずっと幸せなの

誰にも邪魔させないの

辛いことも全部忘れて

わたしがわたしという存在だったことも忘れて

かわいいお洋服とかわいいお洋服を着たわたしがいたということだけが残って

そうなのきつとそのほうがいいの

いいよこれで

明日なんてみんなにはないの

もともと決められた数しか明日は与えられてないの

わたしの残りの明日行きチケットはもう

なくなつた

昨日に戻るのこれからずっと生まれてからの記憶だけに戻って昨日に戻り続ける

あの頃はみんなが優しくしてくれた

優しくしてくれた日だけにわたしを戻して

乙女の宿命

好きじゃなくても褒めちゃうのが女の子よ

ママにリボンを結んでもらったよ

ニキビができたくらいでわたしのかわいさは半減しない

来週になればかわいいお洋服を着て甘いお菓子を食べられる

恋と勉強両立できないのが女の子

週明けの小テストよりも新しいワンピース

彼がわたしの虜になる公式 教えてほしい

口癖はねえ、聞いて

よくする仕草は頬杖ついておねだりすること

なんてわたしは愛おしいの

誰がなんと言おうとわたしだけはわたしを認める

愛してね、子猫のように甘えた声でささやくの

でもいつかは見破つてね可愛いだじゃないってこと

女の子はもつと複雑で難しいから

理解できないならもう目の前に現れないで

わがままなの 気ままなの 欲しがりなの

褒められるだけじゃ満足できない宿命

新しい年を迎えるとまだ泣いてないなつて弱さに目を瞑り安心する

強いとは言わない、でも孤独に耐えられるから乙女なの 永遠に乙女なの